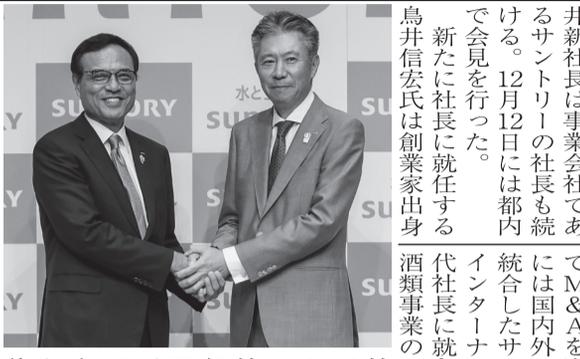


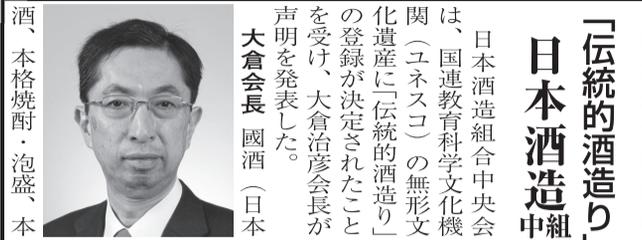
サントリーホールディングス

社長に鳥井信宏氏 25年3月25日就任予定

サントリーホールディングスは、来年3月25日の株主総会をもって鳥井信宏副社長が社長に昇格し、新浪剛史社長が代表取締役会長に就任。佐治信忠会長は代表取締役会長を継続し新たに取締役役員会議長を兼任する役員人事を発表した。なお、鳥井新社長は事業会社であるサントリーの社長も続ける。12月12日には都内で会見を行った。



鳥井信宏氏は創業家出身の社長に就任し、現在に至るまで「強烈なリーダーシップでグローバル化を推進してきた」と評価されている。佐治信忠氏は「鳥井社長は社長就任に向けて、14年10月に創業家以外では初めて同社の社長に就任。社長在任の10年間で、同社グループの売上高は2倍強、営業利益を2.5倍に成長させた。14年に経営統合した米国の「トムヤムクン」を選ばれた



「伝統的醸造り」世界遺産登録 日本酒造組合中央会 会長声明

日本酒造組合中央会(みりん)を醸す日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術が、ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを歓迎し、大倉治彦会長が声明を発表した。大倉会長 國酒(日本)は、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に「伝統的醸造り」の登録が決定されたことを歓迎し、大倉治彦会長が声明を発表した。

鳥井信宏氏の略歴 1966年3月10日生 慶應義塾大学経済学部卒▽Brandeis University Master of Arts in International Economics & Finance 卒▽91年(株)日本興行銀行(現みずほフィナンシャルグループ)入社▽97年サントリー入社

「トムヤムクン」世界遺産に！ ヤマモリなど今後の拡大に期待 今年12月4日に行われたユネスコ世界無形文化遺産において、タイ料理としての初となる「トムヤムクン」が登録された。

「伝統的醸造り」は、古くは各地の杜氏集団によって継承されてきたが、近年では国税局、独立行政法人酒類総合研究所や公設試験機関の支援を受け、各都道府県酒造組合(合会)を中心に技術の研鑽に努めている。これからの世代へ確

キリンビバレッジ 紅茶鉄道を運行 サンプリングも盛況 尾張旭市をPRする車内広告を掲示した。サンプリングは名鉄名古屋駅コンコース(ミルクテイ)1千本を配布。午後3時の賑やかな時間だったこともあり、想定を大きく超える反響(ミルクテイ)のサンプリングを実施した。

「たまごかけコンビーフ」3年連続優勝 国分グループ本社 優勝し、殿堂入りを果たした。鶏卵事業支援プロジェクト「卵フェス」は、一般社団法人日本たまごかけごはん研究所が主催する世界最大級のたまごかけごはんコンテスト。た

ハウス食品グループ本社 CMでCO2削減をアピール ハウス食品グループ本社は、企業広告「つくろ未来の笑顔」シリーズの第6弾となるTVCM「広がるCO2削減の取り組み」を、11月1日より投下している。

「地球の恵みを受け取り、届け、おいしくと健やかに」を提案する企業として、原材料の調達から家庭の食卓まで、あらゆる場所で健やかな食を支える。サステナブルな未来を支える様々な取り組みを行うことで、食の豊さを未来につなげていくことを目指している。

「強烈なリーダーシップでグローバル化を推進してきた」と評価されている。佐治信忠氏は「鳥井社長は社長就任に向けて、14年10月に創業家以外では初めて同社の社長に就任。社長在任の10年間で、同社グループの売上高は2倍強、営業利益を2.5倍に成長させた。14年に経営統合した米国の「トムヤムクン」を選ばれた

尾張旭市をPRする車内広告を掲示した。サンプリングは名鉄名古屋駅コンコース(ミルクテイ)1千本を配布。午後3時の賑やかな時間だったこともあり、想定を大きく超える反響(ミルクテイ)のサンプリングを実施した。

「たまごかけコンビーフ」3年連続優勝 国分グループ本社 優勝し、殿堂入りを果たした。鶏卵事業支援プロジェクト「卵フェス」は、一般社団法人日本たまごかけごはん研究所が主催する世界最大級のたまごかけごはんコンテスト。た

ハウス食品グループ本社 CMでCO2削減をアピール ハウス食品グループ本社は、企業広告「つくろ未来の笑顔」シリーズの第6弾となるTVCM「広がるCO2削減の取り組み」を、11月1日より投下している。

「地球の恵みを受け取り、届け、おいしくと健やかに」を提案する企業として、原材料の調達から家庭の食卓まで、あらゆる場所で健やかな食を支える。サステナブルな未来を支える様々な取り組みを行うことで、食の豊さを未来につなげていくことを目指している。



「地球の恵みを受け取り、届け、おいしくと健やかに」を提案する企業として、原材料の調達から家庭の食卓まで、あらゆる場所で健やかな食を支える。サステナブルな未来を支える様々な取り組みを行うことで、食の豊さを未来につなげていくことを目指している。